



報道発表

2020年6月4日

リジェネフロ株式会社への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるリジェネフロ株式会社（本社：京都市左京区、代表取締役：石切山俊博）に対する投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

リジェネフロは、京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）増殖分化機構研究部門の長船健二教授の研究成果を基に、2019年9月に設立されたベンチャー企業です。長船教授は腎前駆細胞の存在を世界で初めて発見したのを皮切りに、iPS 細胞から腎前駆細胞を高効率に作製する技術や、同細胞の拡大培養技術、凍結保存技術の確立などに成功してきました。

社会の高齢化とともに慢性腎臓病（CKD）に苦しむ患者さんは右肩上がりで増加しており、CKD の患者数は日本の成人人口の 13%、約 1,300 万人に達しています。CKD の治療に有効な医薬品や治療技術は現時点では存在せず、対症療法を施すしかありません。CKD が悪化すると人工透析が必要になりますが、人工透析の患者数も年々増加しており、その医療費は年間 1 兆 5,000 億円を超えています。CKD の症状を改善し人工透析患者を減らすための技術の開発は、社会的急務となっています。

長船教授が発明した iPS 細胞由来腎前駆細胞は、動物実験において腎障害を大幅に改善する効果を示しています。リジェネフロは今後、iPS 細胞由来腎前駆細胞を有効成分とする細胞医薬の実用化に取り組み、CKD を適応症とする承認取得を目指します。

京都 iCAP は、京都大学から生まれた iPS 細胞を活用して難病の新規治療技術の開発に挑戦するリジェネフロの将来性を高く評価し、同社に対して 1 億 5,000 万円の投資枠を設定。そのうち 1 億円の投資を実行しました。今回の調達は総額 3 億 6,000 万円で、京都 iCAP の他に株式会社ジャフコが運営する投資事業有限責任組合、富士フィルム株式会社、国立研究開発法人科学技術振興機構、京銀リース・キャピタル株式会社が運営する投資事業有限責任組合が参加しています。リジェネフロの研究開発においてあらかじめ合意したマイルストーンが達成されれば、京都 iCAP は残りの 5,000 万円も投資実行いたします。



京都 iCAP 及びジャフコは、リジェネフロに対する経営支援の一環として社外取締役を 1 人ずつ派遣します。また、富士フィルムはリジェネフロと業務提携契約を締結しており、iPS 細胞由来腎前駆細胞による再生医療製品の米国での開発・製造受託及び創薬支援用細胞の国内販売等に関する優先交渉権を取得しました。

リジェネフロ株式会社 概要

設立	2019 年 9 月
事業内容	腎疾患治療薬の研究開発・生産・販売
本社所在地	京都市左京区
代表取締役	石切山俊博

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、京都 iCAP を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp